

系統レベルの点検・評価 に関する概要 (3号機)

平成23年3月10日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所



東京電力

系統機能試験一覧（3号機：全26試験）

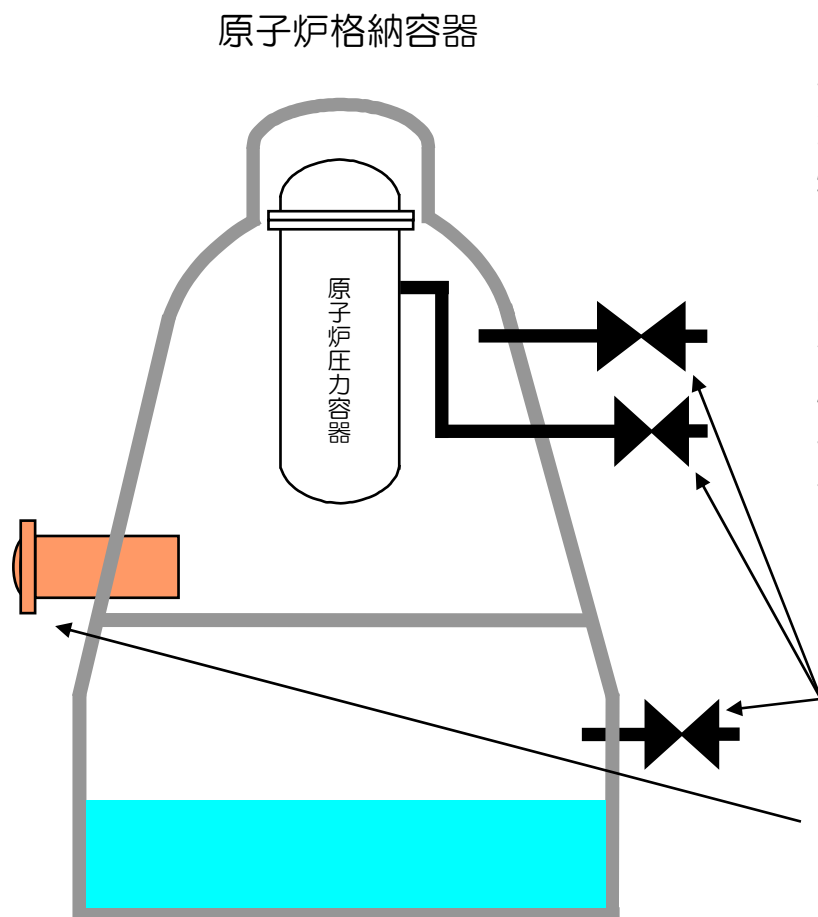
<ul style="list-style-type: none">・<u>原子炉停止余裕試験※2</u>・<u>主蒸気隔離弁機能試験</u>・<u>非常用ディーゼル発電機,</u> <u>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機,</u> <u>高圧炉心スプレイ系, 低圧炉心スプレイ系,</u> <u>低圧注水系, 原子炉補機冷却系機能試験※1</u>・<u>自動減圧系機能試験</u>・<u>タービンバイパス弁機能試験</u>・<u>給水ポンプ機能試験</u>・<u>制御棒駆動系機能試験※2</u>・<u>ほう酸水注入系機能試験</u>・<u>原子炉保護系インターロック機能試験※1、4</u>・<u>計装用圧縮空気系機能試験</u>・<u>制御棒駆動機構機能試験※2</u>・<u>選択制御棒挿入機能試験※2</u>・<u>原子炉建屋天井クレーン機能試験</u>	<ul style="list-style-type: none">・<u>非常用ガス処理系機能試験※1</u>・<u>中央制御室非常用循環系機能試験※1</u>・<u>液体廃棄物貯蔵設備・処理設備のインターロック</u> <u>機能試験（その1）</u>・<u>液体廃棄物貯蔵設備・処理設備のインターロック</u> <u>機能試験（その2）</u>・<u>液体廃棄物処理系機能試験</u>・<u>原子炉格納容器漏えい率試験※2</u>・<u>原子炉格納容器隔離弁機能試験</u>・<u>可燃性ガス濃度制御系機能試験</u>・<u>原子炉格納容器スプレイ系機能試験</u>・<u>原子炉建屋気密性能試験※1、5</u>・<u>非常用ディーゼル発電機定格容量確認試験※1</u>・<u>直流電源系機能試験※1</u>・<u>蒸気タービン性能試験（その2）※3</u>
---	--

枠付き は、今回、試験概要についてお知らせするもの。下線はすでにお知らせ済みのもの。

- ※1：燃料装荷前に実施する試験
- ※2：燃料装荷状態で実施する試験
- ※3：蒸気を発生させた後に行う試験を除く
- ※4：一部の試験項目は燃料装荷後に実施
- ※5：燃料装荷前の確認としては、原子炉建屋気密性能検査（停止後）および非常用ガス処理系機能検査により確認
原子炉格納容器漏えい率試験後に、あらためて原子炉建屋機密性能試験を実施する

系統機能試験概要 (24) . 【原子炉格納容器漏えい率試験】

➤ 試験概要



＜本系統の役割【閉じ込める】＞

冷却材喪失事故の際に、原子炉格納容器内に漏れ出した蒸気または高温水、および放射性物質を原子炉格納容器内に閉じ込めること。

＜試験の目的＞

定期検査中に開放していたハッチや弁を閉じ、原子炉格納容器内を窒素ガスにて加圧し、原子炉格納容器外に漏れ出す量を測定することで系統の性能が発揮されることを確認する。

弁 }
ハッチ } 弁およびハッチ（人員の出入用および機器搬出入用）を閉じ原子炉格納容器内を窒素ガスにて加圧する。

系統機能試験概要（25） 【原子炉建屋気密性能試験】

▶ 試験概要

＜本系統の役割【閉じ込める】＞

冷却材喪失事故時等に、原子炉建屋原子炉棟に漏れ出してくる放射性物質を、原子炉建屋原子炉棟内を負圧に維持することで閉じ込めること。

＜試験の目的＞

原子炉建屋気密性能試験は、原子炉建屋換気空調系を隔離した状態において、非常用ガス処理系を所定の風量で運転し、原子炉建屋原子炉棟の負圧が規定値以上を維持できることを確認することで系統の性能が発揮されることを確認する。

